



中嶋 奎弥 さん (30)

まくひとしごと 枕崎 × 人 × 仕事 No.39

株式会社旭ガス / 汐見町

「枕崎 × 人 × 仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。

今月は、株式会社旭ガスで働く男性取材しました。



昭和57年に旭石油から独立して設立し、近所のガス屋さんとして市民の生活を支えてきた株式会社旭ガス。今回は、株式会社旭ガスで配送を担当する中嶋奎弥さん取材しました。

本市出身の中嶋さんは、枕崎小・中学校を卒業後、加世田高校から鹿児島国際大学へ進学。その後、大ファンのプロ野球チーム「読売ジャイアンツ」の試合を間近で応援したいと、東京の不動産会社に営業職として就職します。多忙な日々を過ごしつつも、念願叶って多くの試合を観戦。しかし、次第に地元で働きたいという思いが強くなり、令和4年11月から株式会社旭ガスへ入社しました。

現在、中嶋さんは、ガスの配送の他に検針や点検、コンロ等の機器の設置などを担当しています。

プライベートでは、大好きな読売ジャイアンツの活躍を楽しみにしているという中嶋さん。「今年こそ日本一になってほしいですね！」と期待を寄せます。「オール電化の家が増えていますが、ガス衣類乾燥機『幹太くん』はとても便利でおすすめです。設置をご希望の際は、市内のガス取扱店へお気軽にお尋ねください」と話していました。

金属鉱物資源展 ～鹿籠金山遺構～

天和年間(1681～1683)に鹿籠郷の郷士・有川夢宅により発見された鹿籠金山をテーマに開催します。鹿児島大学名誉教授・志賀美英氏の協力により、春日鉱山産金鉱石をはじめ国内外で採取した金属鉱石、また鹿籠金山にまつわる資料をパネルで解説しながら公開・展示します。

- 会期 2月4日(火)～2月16日(日) ※月曜日は休館
- ミュージアムトーク 講師：志賀美英氏 2月4日(火)午前11時～正午
- 観覧料 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下無料

薩摩おいどんリーグの ピックアップゲームを開催

昨年に引き続き、薩摩おいどんリーグが

2月22日から3月9日までの16日間にかけて開催されます。本市では3月1日の午後からピックアップゲームが開催予定です。

試合日程等の詳細につきましては、薩摩おいどんリーグのホームページをご覧ください。

野球場トイレが リニューアルされました！



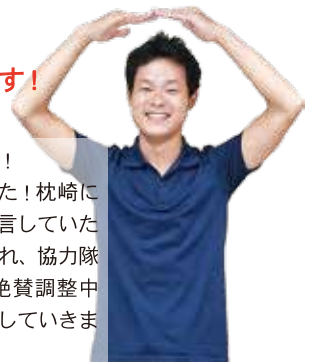
市営野球場のトイレについて、スポーツ振興くじ助成金を活用し、多目的トイレを新設するとともに、入口段差の解消や男女トイレの洋式化を行い、バリアフリー化しました。



▲関係人口コミュニティ推進事業に参加した皆さん

今月の担当は おうはし隊員です！

皆さん、こんにちは！
関係人口・移住担当の大橋です！
枕崎に来て2年半が経ちました！枕崎に
来た当初、1年で東京に戻ると宣言していた
私ですが、枕崎の魅力に取り憑かれ、協力隊
の任期後も枕崎に残れるよう、絶賛調整中
です。今後、任期後の取組も公表していきま



地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊 が行く！

枕崎ファンにさらに枕崎を好き
になってもらおう！関係人口コ
ミュニティ推進事業を実施しま
した！

去年の9月から12月までの4
カ月間、関係人口コミュニティ
推進事業を実施しました。皆さ
ん、「関係人口」という言葉をご
存知でしょうか？観光に来る
方、移住する方のちょうど間の
枕崎が好きで定期的に訪問して
くれたり枕崎のことを気にか
けてくれる方のことを指します。
私は、関係人口創出担当とし
て、大学生向けインターンシッ
プやソラシドエア・薩摩酒造・
地域商社推進機構との4者協定
など、枕崎に来てもらって地元
の人と関わっていただき、枕崎
のファンを増やす活動をしてき
ました。

事業の概要

いろいろな活動で増えた枕崎
のファンたち。「ファン同士も
交流しながら、もっと枕崎を好
きになってほしい」と思い、立
ち上げたのが関係人口コミュニ
ティ推進事業です。興味のある
チームを選んでいただき、その
チームを選んだ仲間(4～5人)
を1チームとして3カ月間、街
歩きで枕崎を知る、企画を考え
る中で枕崎のファン同士の交流

や枕崎でやってみたいことを考
え実行してもらいました！

事業を振り返って感じたこと

主に鹿児島市在住の20～30代の
男女に参加いただき、焼酎チーム
は枕崎のミントを使ったオリジナル
ルカクテルの開発と鹿児島市での
POPUP出店、写真チームは枕
崎の隠れたフोटospotのSNS
発信とマップの作成、金山チー
ムは金山の歴史と魅力を詰め込
んだ記事作成をしてくれました！参
加者の中には初めて枕崎に来た方
も多く、枕崎に関わる接点の創
出、そして枕崎の魅力を知って
もらい、自分ごととして企画・発
信してもらう場を創ることができ
ました。

正直、事業企画段階では参加
者に集まってもらえるのか？3
カ月間に渡るプロジェクトで上
手く皆さんをリードできるの
か？など不安は多かったです
が、最終日の皆さんの笑顔や枕
崎の地で仲良くなってくれたこ
と、何より枕崎のことを自分ご
とで考えてくれる機会を提供で
きたことが本当にやってよかつ
たな、としみじみと感じまし
た。今後とも枕崎の魅力を広く
深く知ってもらう活動を通し、
枕崎ファンを創っていきたいと
思います！

市長

コラム

vol. 70



あと百年、これで行く。

「あと百年、これで行く。」これは、1992年の広告コピーです。2021年に58歳という若さで亡くなられた小霜和也さんというコピーライターが書かれた洋酒の広告ボスターのコピーで、とても好きなコピーです。このことばには「決意と自信」のようなものを感じます。勤めた会社で広告の担当をして
いるとき「変わらないこと」が商品の強みだと思い、こんな広告
コピーを使ってみたいと思った記憶があります。一方で「進化
すること」も商品の強みだとの考えとの間で当時の上司と熱く
議論したことも思い出します。

このことばが頭に甦ってきたのはきつかけがあります。1
月3日、立神正月相撲が開催されました。250年以上もの間、
立神地区に伝わる伝統行事が5年ぶりに戻ってきました。1月
3日、相撲場の周りは地域の皆さんをはじめ多くの関係者の熱
気であふれていました。枕崎の正月には立神相撲がよく似合う、
と感じることでした。

2日は、小江平公民館で「はまてご」の行事もありました。子
どもたちが転がってくるダイダイに矢を放つこの伝統行事も、
地域の皆さんの力で続いています。

5日は、田布川集落の「鬼火焚き」の会場に伺いました。こち
らは、過疎化が進む地域を盛り上げていこうと始まり今年で12
回目を数える行事です。この行事もこれから先、次の10年、20
年と歴史を重ねていくことでしょう。

少子化、人口減少が進む中ではありますが、昔から伝わるもの、
新しく作り出すもの、地域にとつてのいろいろな宝を育て
ていくことで地域にチカラを与えていく、「あと百年、これ
で行く。」そんな思いが大事だと感じた、今年の正月でした。

スポーツ・文化 イベント情報

南浜館

開 9:00～17:00
※入館は16:30まで

休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問 スポーツ・文化振興課
TEL72-9998